



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社 クエスト  
コード番号 2332 URL <https://www.quest.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 岡 明男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 小泉 裕  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 050 - 3785 - 3965

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,448	1.4	154	38.0	175	34.6	116	35.5
2023年3月期第1四半期	3,399		248		269		180	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 131百万円 ( 17.0%) 2023年3月期第1四半期 158百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	21.76	
2023年3月期第1四半期	33.93	

1) 当社は、2022年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2) 2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

3) EBITDA 2024年3月期第1四半期: 2億21百万円 2023年3月期第1四半期: 3億4百万円

EBITDAマージン 2024年3月期第1四半期: 6.4% 2023年3月期第1四半期: 8.9%

上記の算式は、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」を参照

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	8,371	6,151	73.5	1,150.09
2023年3月期	9,042	6,265	69.3	1,171.47

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,151百万円 2023年3月期 6,265百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		46.00	46.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.1	940	3.7	985	4.7	658	4.7	123.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	5,487,768 株	2023年3月期	5,487,768 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	139,019 株	2023年3月期	139,019 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	5,348,749 株	2023年3月期1Q	5,316,094 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2022年3月31日及び同年4月28日に行われた株式会社エヌ・ケイとの企業結合について、前連結会計年度の第2四半期連結会計期間まで暫定的な会計処理を行っており、前第3四半期連結会計期間に確定していません。暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、前年同期との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を用いています。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行やインバウンドを含む人流の回復等により経済活動が好転した一方で、長期化する欧州での紛争に伴う資源価格や原材料価格の上昇、円安進行による物価上昇により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2023年5月分確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比7.6%増と14ヶ月連続して増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は前年同月比10.3%増加、「システム等管理運営受託」は同3.6%増加となり、AIやブロックチェーンなど、デジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDXを中心に企業のIT投資需要は引き続き高い状況で推移しました。当社においては、主要顧客である半導体分野顧客の投資抑制の影響を受けたことにより、売上高は前年同月比1.4%増と業界全体を下回る結果となりました。

このような事業環境のもと、当社は中長期ビジョン「Quest Vision2030」（※1）の第1期である「2021-2023年度・中期経営計画」で掲げた「事業構造の変革」、「産業ポートフォリオの変革」、「事業体質の変革」の基本方針のもと、当連結会計年度は持続的成長と新たな強みを生み出す準備と仕込みを念頭に活動を展開しています。その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前連結会計年度第4四半期から継続して半導体分野顧客の投資抑制による影響はあったものの、需要の高いパワー・センサー半導体製造顧客や金融、他の産業分野顧客へリソースを柔軟にシフトすることにより、前年同期比1.4%増の34億48百万円となりました。

利益については、長期視点で前年度より引き続き成長分野における新技術獲得に向けた人材育成等を加速強化して取り組んでいます。一方、当第1四半期連結累計期間においては、半導体メモリ産業の市況の悪化の影響を受けて、ポートフォリオ経営のもと、リソースを他の産業にシフトして利益の確保に努めています。前年同期比較では、一過性の要因ではありますが、旧本社オフィスの原状回復費用を計上したことにより、営業利益は1億54百万円（前年同期比38.0%減）、経常利益は1億75百万円（前年同期比34.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億16百万円（前年同期比35.5%減）となりました。半導体市況の悪化、本社オフィス移転の費用計上は、リスクとして織り込み済みの内容であり、当初計画した経営数値に対して順調に推移しています。

当社は2022年4月に株式会社エヌ・ケイを完全子会社化し、顧客戦略の共有やリソースの最適化、オペレーションの効率化に取り組んでいます。連結会計の適用に伴い、一定期間において顧客関連資産及びのれんの償却費用が計上されることとなります。比較可能性を担保するための指標として、当第1四半期連結累計期間におけるEBITDA（※2）は2億21百万円、EBITDAマージン（※3）は6.4%となりました。参考値として、前第1四半期連結累計期間のEBITDAは3億4百万円、EBITDAマージンは8.9%となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

システム開発事業については、金融分野顧客、ヘルスケア・メディカル分野顧客からの開発案件受注が増加したものの、主要顧客である半導体分野顧客の開発案件受注が減少したことにより、売上高は21億1百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は3億円（前年同期比20.3%減）となりました。

インフラサービス事業については、金融分野顧客、エレクトロニクス分野顧客に対するサービス提供が増加したことにより、売上高は13億44百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は2億21百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. セグメント利益については、全社費用等の配分前で記載しています。

※1. Quest Vision2030 : 当社のウェブページをご参照ください。

[https://www.quest.co.jp/irinfo/quest\\_vision2030/](https://www.quest.co.jp/irinfo/quest_vision2030/)

2. EBITDA : 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 顧客関連資産償却費  
+ のれん償却費

3. EBITDAマージン : EBITDA ÷ 売上高

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は83億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億70百万円減少しました。これは主に現金及び預金が5億78百万円減少したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が2億86百万円減少したこと、金銭の信託が2億円増加したこと等によるものです。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は22億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億55百万円減少しました。これは主に賞与引当金が4億6百万円減少したこと、未払法人税等が1億74百万円減少したこと等によるものです。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は61億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1億29百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が13百万円増加したこと等によるものです。利益剰余金については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1億16百万円増加し、配当金の支払いにより2億46百万円減少しています。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表した業績予想から修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,659,343	2,081,101
受取手形、売掛金及び契約資産	3,018,122	2,731,276
金銭の信託	—	200,000
仕掛品	2,860	7,602
その他	393,737	367,968
流動資産合計	6,074,064	5,387,948
固定資産		
有形固定資産	207,462	222,614
無形固定資産		
顧客関連資産	505,168	494,643
のれん	305,916	286,797
その他	13,327	14,800
無形固定資産合計	824,412	796,241
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174,098	1,197,550
その他	762,063	767,638
投資その他の資産合計	1,936,161	1,965,189
固定資産合計	2,968,036	2,984,045
資産合計	9,042,101	8,371,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	462,293	417,601
未払法人税等	204,103	29,768
契約負債	42,867	46,166
賞与引当金	722,535	316,013
役員賞与引当金	5,831	10,130
プロジェクト損失引当金	1,404	1,305
その他	876,644	935,621
流動負債合計	2,315,680	1,756,607
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,275	42,000
退職給付に係る負債	262,366	258,440
資産除去債務	865	866
その他	152,026	162,538
固定負債合計	460,533	463,846
負債合計	2,776,213	2,220,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	603,313	603,313
利益剰余金	4,933,734	4,804,106
自己株式	△97,650	△97,650
株主資本合計	5,930,428	5,800,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	395,387	408,892
退職給付に係る調整累計額	△59,928	△58,151
その他の包括利益累計額合計	335,458	350,740
純資産合計	6,265,887	6,151,540
負債純資産合計	9,042,101	8,371,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,399,857	3,448,371
売上原価	2,761,892	2,864,999
売上総利益	637,964	583,371
販売費及び一般管理費	389,031	429,103
営業利益	248,933	154,268
営業外収益		
受取配当金	9,586	9,195
投資事業組合運用益	—	8,082
持分法による投資利益	5,479	4,284
その他	5,362	196
営業外収益合計	20,427	21,757
営業外費用		
支払利息	102	38
その他	0	2
営業外費用合計	102	40
経常利益	269,258	175,984
税金等調整前四半期純利益	269,258	175,984
法人税、住民税及び事業税	23,401	9,368
法人税等調整額	65,508	50,202
法人税等合計	88,909	59,571
四半期純利益	180,348	116,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,348	116,413



四半期連結包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	180,348	116,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,082	13,855
退職給付に係る調整額	2,395	1,777
持分法適用会社に対する持分相当額	87	△350
その他の包括利益合計	△21,599	15,281
四半期包括利益	158,749	131,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,749	131,695

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。